

鳴和プラスチック株式会社 環境行動計画

取組方針

鳴和プラスチック株式会社は、仕事を通してお客様に感謝される商品づくりを考えて提供する理念のもと、スタッフは人間的・技術的向上に努力し周りに笑顔をたくさん作り、サイン業者としてよりよい景観形成に貢献いたしております。

また、当社の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら進歩・発展していくことを目指していきます。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取り組みを社員一丸となって推進します。

- ① 事業活動の中での省エネルギーと省資源（紙使用量の節減）
- ② 製造SC・事務SCにおける廃棄物の削減
- ③ 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底
- ④ 危険物の安全な取扱い

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取り組み内容を全社員に周知します。

平成25年6月14日

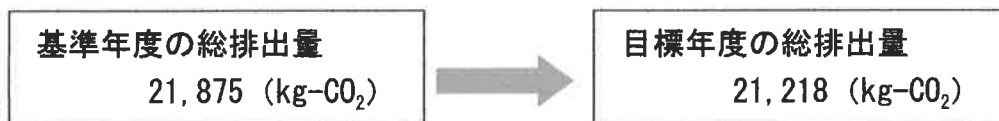
鳴和プラスチック株式会社

代表取締役 岡谷 勝史

3. 環境負荷の低減目標

当社では、平成 26 年度に向けての事業活動に伴う環境負荷を低減するため、取組目標を掲げ目標を達成するための具体的な取り組み項目を設定して取り組むこととしています。設定した取組目標と具体的な取り組み項目は、以下のとおりです。(基準年度はいずれも 24 年度)

【目標 1】 二酸化炭素の総排出量を 3%削減する。



【目標 2】 産業廃棄物の排出量を測定し削減するよう努力する。

【目標 3】 コピー用紙の使用量を 2%削減する。



4. 環境保全に向けた具体的な取組

【取組 1】 二酸化炭素総排出量の削減

(事務所での取組)

- ① 昼休みの消灯、人のいない場所の消灯を徹底する。
- ② ノー残業デーを設ける。
- ③ 温度計を設置し、空調機の設定温度を管理する。
- ④ 使用していない電気器具の主電源を切り、待機電力を削減する。
- ⑤ 休日前には、パソコンのコンセントを抜いておく。

(車両での取組)

- ① アイドリングストップを徹底する。
- ② 車両の点検を定期的に行う。
- ③ 車で移動する際は、乗り合わせを徹底する。
- ④ エコドライブに取り組む。(アイドリングストップ、ふんわりアクセル)
- ⑤ エコカー(低燃費・低公害車)の購入を推進する。
- ⑥ 給油時タイヤの空気圧をチェックし燃費の向上に努める。

【取組 2】 廃棄物排出量の削減

- ① 廃棄物は決められたゴミ箱に分別して出す。
- ② シュレッダーの使用は機密書類に限定する。

- ③ ファイル、フォルダーなどは繰り返し使用する。
- ④ 仕入れ・納入にはできるだけ通い箱を使用する
- ⑤ 使用済みの段ボール、梱包材、荷造りひもを分別する。
- ⑥ 新しい製品カタログを受け取るときには、旧版を引き取ってもらう。
- ⑦ 再使用、リサイクルしやすい製品を優先的に購入する。
- ⑧ 詰め替え可能な製品を優先的に購入・使用する。
- ⑨ 紙のリサイクルに努める。
- ⑩ 製品をできるだけ長期間使用する。

【取組3】コピー用紙使用量の削減

- ① 作成資料を印刷する際は、パソコン画面上での確認を励行する。
- ② 社内資料は、両面コピー、縮小コピー、裏面活用に努める。
- ③ 顧客情報等を含まない不要な文書、毀損したコピー用紙の裏面を再利用する。
- ④ 電子メディアの利用によって、ペーパーレス化を推進する。
- ⑤ 会議資料等の削減に努める。(資料のコンパクト化、必要最低部数のコピー)
- ⑥ コピーをする場合は、その必要性を十分考える。
- ⑦ コピー機のコピーボタンを押す前に、必ず設定状況を確認しミスコピーの削減に努める。

5. 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画に基づき環境保全活動を効果的に実施するため、環境活動責任者を中心に組織的に取り組むとともに、その進捗状況を定期的にチェックします。